

Milagros de Nuestra Señora by Gonzalo de Berceo

Translated by Tsuyomasa Ota

Abstract

Gonzalo de Berceo was a Castilian poet born in the last years of the twelfth century in the Riojan village of Berceo, close to the major Benedictine monastery of San Millán de la Cogolla. He is celebrated for his poems on religious subjects, written in a style of verse that has been called *mester de clerecía* (scholars' art) as compared with *mester de juglaría* (minstrels' work). Gonzalo is recorded as being a deacon in his home parish in the early 1220s, and as a priest from 1237 on.

Milagros de Nuestra Señora (Miracles of our Lady), Berceo's most studied work is a collection of twenty-five miracles of the Virgin Mary. The form of these miracle tales written in the erudite form of *cuaderna vía* (four-fold way) is simple as is Berceo's style in general.

The present translation is made from Tale 13 to Tale 19.

聖母の奇跡Ⅲ

ゴンサロ・デ・ベルセオ作
太田 強 正 訳

ゴンサロ・デ・ベルセオ（Gonzalo de Berceo）はスペイン北部のラ・リオハ（La Rioja）地方のベルセオ（Berceo）村で 1200 年の数年前に生まれたようである。何年に死亡したかは不明で、スペインで現在名前の分る最古の詩人である。近くあったサン・ミリャン（San Millán）修道院で教育を受け在俗司祭¹⁾となり、修道院長の秘書を務めた。

この作品はメステル・デ・クレレシーア（mester de clerecía）と呼ばれるジャンルに属するものであるが、これは中世スペインの主に聖職者による教養階級の文学の流派を意味し、文字の読み書きのできない吟遊詩人（juglares）によるメステル・デ・フグラリーア（mester de juglaría）と対をなすものである。

ベルセオは前者の先駆けで、この「聖母の奇跡」はその代表作である。これはクアデルナ・ビーア（cuaderna vía）と呼ばれる 1 行 14 音節同音韻 4 行詩で書かれた宗教詩で 25 の奇跡物語が記されている。ベースになっているのは 1910 年にコペンハーゲン図書館で発見されたラテン語の写本（MS Thott 128）であるとされている。

今回は第 13 話から第 19 話までを掲載する。訳は言葉が違うので韻を踏ませることはできなかったが各行ごとに付けた。そのため日本語として通

るように原文にない接続詞などを補わなければならない箇所があった。

本稿は Edición de Juan Carlos Bayo e Ian Michael に基づいているが、訳に当たっては現代スペイン語訳の他、英語、イタリア語訳を参照した。また部分訳ではあるが日本語訳も参考にした。

13 新しい司教

306 その同じ町に ⁵⁷⁾ 良きキリスト教徒がいました

名をヘロニモと言ひ、正規の司祭でした

日々欠かさず聖母に仕えていました

昼となく夜となく、冬も夏も

307 たまたまその地の司教が亡くなりました

(後任を) 他の誰にしたら良いのか全然決まりませんでした

三日間黙禱をして、神に願おうとしました

誰を昇進させるべきか示してくれるように

308 ある1人のとても熱心なカトリック信者に

聖母が言いました、幻の中で

《もし、あなた、なぜあなた達は意見がそんなに割れているのですか

私の熱心な信者を選びなさい》

309 その善良な男は確かめるために彼女に言いました

《話しているあなたは誰なのですか、熱心な信者とは誰ですか》

《私は一と彼女は言いました一真の神の母です

ヘロニモは私の鍵番だと人々は言っています》

- 310 私の使者になり、この命令を伝えなさい
私はあなたにただちに遂行するように命じます
もし参事会が命令通りしなければ、ひどい誤りを犯すことになる
でしょう
私の息子はこの事に満足しないでしょう
- 311 彼がこの事を言うとう選挙人たちは信じました
しかしヘロニモが誰だか知っている人はいませんでした
人々は町中に探索方を送りました
情報提供者にはたっぷり褒美が支払われることになっていました
- 312 彼らは教区の司祭であるヘロニモを見つけました
あまり知られていない、しかし悪いことがほとんどない人でした
彼らは手を取って司教座聖堂に連れて行き
敬意を表して司教の座を与えました
- 313 人々は聖母の言いつけに従って
彼を司教に、そしてバビーアの長にしました
それで皆うれしく思い、喜びました
事がちゃんと運ばれるのを見たのですから
- 314 彼はとても良い司教で正しい牧者でした
猛々しい者にはライオンであり、柔和な者には子羊でした
自分の群を良く導きました、使用人のようではなく、

先頭に立ったしっかりした牧者のように

- 315 我らの主なる神は彼の為すべき事を教え導いてくれました
彼は良い生涯を送り、最後はもっと素晴らしいものでした
この世を去ってもっと大きな世に行ったとき
創造主の母である聖母が彼を導いてくれました

- 316 このように慈悲深い母は常に賛美されんことを
常に祝福され、常に崇められんことを
彼女は自分の友に素晴らしい誉れを与えます
彼女の慈悲は決して想像の及ぶものではないでしょう

14 崇められた像

- 317 サン・ミゲル・デ・ラ・トゥンバは大きな修道院です
海が全体を囲んでいて、それは真ん中にあります
それは危険な場所で、大変な労苦に遭遇します
そこに住んでいる修道士たちは墓場にいるようなものです

- 318 私たちが述べたこの修道院には
正式に品級⁵⁸⁾を授けられた集団である良き修道士たちと
素晴らしい非常に名誉ある聖母を祀った祭壇がありました
とても高価な素晴らしい聖母像でした

- 319 その像は玉座に据えられており
腕には一よくあるように一御子を抱いており

その回りに博士たち⁵⁹⁾を伴っていました
 神聖なる神の素晴らしい女王として

- 320 素晴らしい女王として素晴らしい冠をつけていました
 上にはベールの代わりに立派なかぶり物をかぶっていました
 それはとても精巧な細工がしてあり
 その像が手元にあるこの町はより価値がありました
- 321 彼女の前には立派な長柄の羽扇が下がっていました
 俗にはモスカデーロ⁶⁰⁾と言っているものです
 クジャクの羽から職人が作りました
 星のように輝いており明の明星のようでした
- 322 重い罪のために天から雷が落ちて
 教会をくまなく焼きました
 すべての本と聖なる布を焼いたのです
 もう少しで修道士たちも焼け死ぬところでしたが、だいじょうぶ
 でした
- 323 それは戸棚とすべての（祭壇）正面装飾布を焼きました
 梁、桁、垂木、屋根、
 （ミサ用の）小瓶、聖杯、燭台も焼きました
 神は他のこと同様、このことにも耐えました
- 324 火は非常に強く燃え盛っていましたが
 聖母にも御子にも

その前に下がっている長柄の羽扇にも達しませんでした
それらには全然被害はありませんでした

325 聖母像も長柄の羽扇も焼けませんでした
それらはまったく無傷でした
煙さえも届きませんでした
損害は私がテリヨ司教⁶¹⁾に与えるより小さくすみしました

326 ありとあらゆる物⁶²⁾が崩壊しました
すべてが焼け焦げ、すべてが壊滅しました
しかし聖母像の回りはそのままでした
火は害を及ぼしませんでした、そんなに大胆でなかったからです

327 すべての人はこの事を素晴らしい驚異と受け取りました
煙も火も聖母には達しませんでした
長柄の羽扇は星よりも明るく輝いていました
御子はとても美しく、乙女も美しいままでした

328 この貴重な奇跡は忘れられることはありませんでした
それはただちにしっかり口述され、書き留められました
世の続く限り語り継がれることでしょう
それにより災難が宝に変わりました

329 祝福された乙女、すべての女王
彼女がこのような火からかぶり物を守ったように
そのように彼女の僕^{しもべ}を永遠の業火から解き放ちます

そして彼らを決して災いのない栄光へと導きます

15 結婚式と聖母

- 330 とても大きな都市であるピサの町に
その町は海辺の港にあり、非常に富んでいるのですが
そこに血筋のいい司教座司祭がいました
彼の住んでいる場所は聖カシアンと呼ばれていました
- 331 前にお話しした他の司祭がそうであったように
彼らは聖マリアに仕える司祭だったのですが
この司祭は多くのキリスト教徒よりもずっと彼女を愛していて
まめまめしく彼女に仕えていました
- 332 当時は司祭には習慣がなかったのです
マリア様、あなたに祈りを捧げる習慣が
しかし彼は欠かさず毎日祈りを捧げていました
聖母はそこから喜びとうれしさを感じていたのです
- 333 彼の両親には彼以外に子供がいませんでした
その両親が亡くなった時には、彼は立派な相続人でした
彼らはかなりの財産の詰まっ宝蔵を残したので
彼は羨まれるような良い結婚をするはずでした
- 334 父と母が亡くなった時
悲しみに沈んだ親戚がやって来て

彼に子供を何人かもうけるように言いました
大事な場所を荒れたままにしておかないように

- 335 彼は前に持っていた計画を変えました
世俗の法が彼を動かして、そうしようと言いました
彼にふさわしい嫁を探してもらい
結婚式の日取りを決めました
- 336 結婚式を挙げる日が来たとき
親戚と共に花嫁をもらいに行きました
聖母にはさほど良く仕えることはできなくなりました
以前そうしていたようには
- 337 彼が喜びを実行するために道を行くと
なおざりにしていた聖母のことを思い出して
自分は間違っていた、死んだも同然だと思いました
これは良い事にはならないと考えました
- 338 心を入れ替えてこのことを考えていると
神に捧げられた場所である教会を見つけました
他の同行者たちを柱廊の外に残して
悔い改めた新郎は祈るために中に入りました
- 339 教会の一番隅に入り
跪いて祈りを捧げました
祝福に満ちた聖母が現われて

激怒して次のように言いました

- 340 《気のふれた不幸者よ、罪深い狂人よ
一体どうしたのですか、何に陥ってしまったのですか
あなたは毒を盛られたように見えますよ、毒を飲んだのですね
あるいはあなたは聖マルチン⁶³⁾の杖に触れられたのですね
- 341 若者よ、あなたは私とちゃんと結婚していました
私は良き友のようにあなたをとて愛していました
なのにあなたは小麦のパンより良いもの⁶⁴⁾を探しています
それ故あなたにはもう何の価値もなくなるでしょう
- 342 もしあなたが私の言うことに耳を傾け、信じたいなら
最初の生活⁶⁵⁾を捨てはしないでしょう
他の女と結婚するために私を捨てはしないでしょう
もしそんな事をすれば、あなたは背中に薪を背負うことになるで
しょう》
- 343 諭された新郎は教会を出ました
皆が彼が遅くなったのを嘆いていました
彼らは（式の準備の）仕事を果たそうとしました
すべての仕事がすばやくなされました
- 344 花嫁が得られて素晴らしい結婚式をしました
というのはもし反対に彼女が軽く扱われたら恥になるところだ
から

花嫁はこの花婿にとっても満足していました
しかし彼女はどこに落とし穴があるのか知りませんでした

- 345 前述のこの男は包み隠すことを良く知っていました
舌は心に秘密を持っていました
彼はごく自然に笑い楽しんでいました
しかし先行きは彼を動揺させました

- 346 豪華な式で大いなる喜びがありました
一日でこれ以上の大きな喜びはありませんでした
しかしそこに聖母は網をしかけました
そして乾いた土地で大きな漁獲高を上げたのです

- 347 夜になって寝る時間に
新郎新婦は横になる床を作ってもらいました
彼らの間に何のお楽しみもないうちに
新婦の腕は何も抱くものがなくなりました

- 348 彼が手からすり抜けたのです、夫がいなくなってしまったのです
皆彼がどこへ行ってしまったのか分かりませんでした
聖母がしっかり隠すことができたのです
彼女が彼が墮落させられるのを認めなかったのです

- 349 彼は美しい妻と莫大な財産を残して行きました
今日このような事をする者はほんのわずかでしょう
彼がどこでどうなったのか知ることは出来ませんでした

神のためにこのようにする者は祝福を受けますように

350 私たちはこの善人が

どこかとても宗教的な場所を探したと思います

そこで隠れて祈りを捧げていたのです

それで魂は神の素晴らしい褒美を得ました

351 私たちは確かに信じるべきです

おのがためにこの男がこのような事をしたことを

聖母は慈悲深い方ですので忘れはしないと

そしてあちらで、彼女が安らいでいる所で彼も安らぐようにして

くださるでしょう

16 ユダヤ人の少年

352 外国の都市、ボルヘスの町⁶⁶⁾に

そのころある偉業がありました

それはフランスにもドイツにも鳴り渡りました

確かに同じような似た奇跡の話です

353 ある修道士がそれを書きました、正直な人間です

クルサの聖ミカエル修道院⁶⁷⁾の修道士で

当時ボルヘスの宿泊所⁶⁸⁾を任されていました

ペイドロという名前で、それに関しては確かです

354 その町に、必要だったので、

1 人の司祭が歌ったり読んだりする学校を持っていました
文字を学ぶために多くの生徒がいました
良家の子弟で向上心がありました

- 355 その地の生まれのユダヤ人の少年がよくやって来ました
子供たちと仲良く遊ぶためです
他の子供たちは彼を受け入れ、悲しませたりしませんでした
子供たちは皆彼と喜んで遊んでいました

- 356 復活祭の日曜、朝早く
キリスト教徒たちが聖体拝領に行く時
ユダヤ人の少年もひどく聖体⁶⁹⁾を受けたい気持ちになり
その毛のない子羊⁷⁰⁾も他の子供たちと一緒に聖体を拝領しまし
た

- 357 人々が非常に熱心に聖体拝領をしている間
そのユダヤ人の少年は注意深く見ていました
彼は祭壇の上に美しい像を見ました
それはかわいい赤子を抱いた美しい婦人でした

- 358 少年は祭壇の上にいるこの婦人が
大人や子供たちに聖体を授けているのを見ました
かれは非常にうれしく思い、彼女を見れば見るほど
その美しさに恋心を抱いていきました

- 359 少年は朗らかに満足して教会を出て

いつも通りすぐに帰宅しました
 父親は少年の帰りが遅かったので彼を脅し付けました
 むち打たれてもおかしくない程でした

- 360 《お父さん—と少年は言いました—僕は何も否定するつもりはありません

というのも僕は朝早くキリスト教徒の子供たちと行って
 一緒に素晴らしい歌ミサにあずかり
 一緒に聖体拝領したからです》

- 361 この言葉が不幸な父をひどく悲しませました
 まるで息子が死んだか、首を切り落とされたかのようなようでした
 非常な怒りでこの悪魔に取り憑かれたような男はどうしたら良い
 のか分かりませんでした
 悪魔が乗移ったようなひどい形相をしていました

- 362 家の中にこの裏切り者の犬を飼っていたのです
 非常な恐怖を引き起こす大きくて恐ろしい釜戸がありました
 狂った罪人の父はそれに火を入れさせました
 超高熱を発するように

- 363 この謝った不信心者の父親は子供を捉まえて
 靴を履いて服を着たままで
 燃えさかる火の中へ投げ入れました
 息子にこのような事をする父親には不幸が来ますように

- 364 母親が声をあげ大きく叫びました
爪で両頬を引っ搔いていました
すぐに多くの人がやって来ました
このようなすさまじいうめき声に啞然としていました
- 365 火は激しかったけれど、非常に情けがありました
少年を少しも傷つけず、彼に善意を見せました
彼は火から無事に見事に逃れました
全能の王が偉大な奇跡を起したのです
- 366 その少年は釜戸の中で安泰でした
母の腕の中でももっと安らかではなかったでしょう
他の子供よりも火を意に介しませんでした
というのは聖母が付き添って慰めてくれたからです
- 367 彼はまったく無傷で火の中から出てきました
他の時より熱さを感じず
何の傷も苦痛も受けませんでした
というのは神が彼に祝福を与えたからです
- 368 ユダヤ人もキリスト教徒も皆が彼に聞きました
どのようにしてこのような猛火に打ち勝つことが出来たのか
しかも手足の自由が利かなかったときに
誰が中で彼を支えていたのか、明らかにするように
- 369 少年は彼らにはっきりした言葉で答えました

《金の椅子に座っていた婦人、
祭壇の上で息子を腕に抱いた人ですが
その方が僕を守ってくれて僕は何も感じなかった》

- 370 彼らはそれが聖マリアで
彼をそのような凄まじい嵐から救ったのだと分りました
彼らは大いに誉め歌い盛大なお祭りをしました
そしてこの奇跡を更なる勳しとして加えました
- 371 人々はこの偽りの不信心者であるユダヤ人の父を捕らえました
自分の小さい息子にこのようなひどい事をしたのです
彼らは丈夫な綱で彼の手を縛り
燃えさかる火の中へ放り込みました
- 372 わずかな小銭を数えるくらいの間に
父親は灰と炭になりました
彼の魂のためには聖歌も祈りも捧げられませんでした
侮辱と大いなる呪いが投げかけられました
- 373 ろくな葬儀も供物もありませんでした
「主の祈り」の代わりに、「した事の報いを受けよ」と唱えられま
した
このような聖体拝領⁷¹⁾ から神が私たちをお守り下さいさいます
ように
このような呪われた供物は悪魔のために

- 374 恩寵に満ちた聖マリアはこのような方です
献身には栄光を、不実には罰を
善人には小麦を、悪人には燕麦を与える
一方の者たちは栄光に、他方の者たちは鎖に繋がれる
- 375 彼女に仕える者は幸いです
彼女に仕えなかった者は不運のうちに生まれた者です
一方の者たちは恩寵を得、他方の者たちは憎しみを買います
善人も悪人もその行為で分ります
- 376 彼女を侮辱したり、彼女に仕えなかった者でも
願えば恵みを得ました
彼女は自分を愛する者を決して拒みませんでした
自分になされた悪を返したりしませんでした
- 377 あなた方にお話ししたこの事を証明するために
これから読む美しい例をお話ししましょう
それが語られたら、もっと良くその事を信じるようになるでしょう
う
私たちはこれ以上聖母を悲しませることはしないでしょう

17 冒瀆された教会

- 378 三人の友人同士の騎士がいました
彼らの隣人に非常な敵意を抱いていました
できれば喜んで殺したでしょう

彼を死なせることに邪悪な衝動をいだいたのです

- 379 彼らは策を巡らせ、探しまわりました
ある日彼が1人のところを見つけました
殺すつもりだったので待ち伏せをしました
莫大な富よりも彼を捕らえることの方を望んでいたのです
- 380 その隣人の方は彼らが自分を殺したがっていることを知りました
まったく彼らと対決するつもりはありませんでした
逃れたかったので逃げました
彼らは直ちに動き、彼に追いつきました
- 381 非常な恐怖に駆られて逃げ出したその人は
教会を見つけ、そのことでとても喜びました
それは聖母の教会で、彼女に敬意を表して建てられたものでした
惨めな罪人^{つみびと}はその中に隠れました
- 382 彼を殺そうと追いかけていた人々は
その神聖な場所に敬意を表しませんでした
聖母も神も彼を見捨てようとして
魂を体からぬきとろうとしました
- 383 彼は乙女マリアに捧げられた教会の中で
殺されアザだらけの体になりました
聖母は自分がひどい辱めをうけたように感じました
彼女を辱めた者たちはそこで何も得ませんでした

- 384 栄光の女王は自分が侮辱されたと思いました
なぜなら自分の教会が冒瀆されたからです
心が痛み、それで怒っていました
直ちに彼らに腹を立てていることを示しました
- 385 神は彼らに地獄の業火を送りました
それは燃え上がりませんでした、聖マルサルの火⁷²⁾で彼らを
焼きました
火は彼らの四肢を死ぬ程焼いたのです
彼らは大声で叫びました、《聖マリア、助けてください》
- 386 この懲らしめで彼らはひどく痛めつけられました
手足を失い不自由な体になりました
足と腕が胸のすぐ近くにきました
聖母が権利を行使したのです
- 387 人々はそのことを知り、拒否反応は示しませんでした
彼らは被った不幸に値するのです
彼らを打ち砕いた怒り狂った力を
それを犯したときは考えなかったのです
- 388 聖人たちも聖女たちも彼らを助けようとしませんでした
日々彼らの状態は極度に悪化して行きました
前に取るべきだった手段を取ることにしました
聖母のところに戻るのです、彼女は彼らを焼き殺そうとしていま

した

- 389 彼女の祭壇の前に跪いてお願いしました
流せるだけ涙を流して
言いました、《栄えあるお母様、私たちをお許し下さい
私たちを助けてくれる方が他に見つからないのです
- 390 もし私たちが不幸に値するのなら、十分にそれに耐えます
私たちが生きている限りそのことは覚えておきましょう
お母様、もし私たちが許してくださるのなら、お約束します
あなたの教会で決してもう暴力は振るわないと
- 391 お母様、あなたは情け深いので敬われています
怒り狂った時でもいつも憐れみを示されます
恩寵満てるお母様、この事を許してください
私たちに良い、お手柔らかな、寛大なお答えをください
- 392 お母様、私たちは犯した過ちを悔いています
私たちは大きな過ちを犯しました、ひどい狂気を示しました
ひどい罰を受けました、もっと厳しい罰に値しました
私たちは自分たちが食べた分を支払ったのです
- 393 お母様、もし私たちをお助けくださらないなら、あなたか
ら離れないでしょう
もし私たちが許してくださらないなら、ここから出ないでしょう
もし私たちが救助してくださらないなら、何も信頼しないでしょう

う

あなたなしでは、この熱さを終わらせることができないでしょう
う》

- 394 苦しむ人たちの慰めである聖母は
苦悶する人たちの叫びを無視しませんでした
その功績も罪も考慮しないで
自らの節度を思い、火傷を負った者たちを助けました
- 395 これまで怒っていた情け深い聖母は
怒りが和らぎ、穏やかになりました
彼らに抱いていた怒りを解き
すべての病変は直ちに癒されました
- 396 彼らを焼いていた火が弱まり
いつもより手厚い治療を受けました
聖母が彼らを助けようとしてくれているのを感じました
歓喜の涙に暮れて、どうしたら良いか分かりませんでした
- 397 火が弱まり苦痛が消えました
しかし手足は自由になりませんでした
ずっと変形して、ずっと物乞いをしていました
そしていつも大声で自分たちを罪人だ^{つみびと}と宣言していました
- 398 神が彼らに与えることを望んだこの回復により
彼らはすぐ司教のもとへ罪の許しを得るために行きました

しかるべく告解をして
目に涙して、真剣な悔悛の情を示しました

- 399 司教は彼らを諭してその告白を聞きました
彼らが十分な悔悟の念をもって来ていることを知り
彼らに罪の償いを指示し許しを与えました
すべて終わると、彼らを祝福しました
- 400 命じられた多くの巡礼をする他に
また命じられた多くの祈りを唱える他に
教会を壊した武器を
ずっと背負って行くことを彼らに命じました
- 401 これらの悔悛者たちが諭され
すべての罪が許されると
彼らは直ちに悲しげに意気消沈して出発し
自分の武器を背負って各々の道を行いました
- 402 彼らは各々の所に行きました、一カ所ではなく
私が信じるように彼らは再び会うことはありませんでした
三人全部が再び一つ屋根の下で横になることはありませんでした
司教が命じたことを彼らはしっかりと立派に守りました
- 403 彼らが悪を行うことに非常に大胆だったとしたら
償いすることにおいてもとても熱心でした
ひどく傷ついてはいましたが、手足は痛みませんでした

辛い夜と暗い日々を過ごしました

- 404 彼らが罪を犯すことに盲目で愚かであったとしたら
それを改めることにおいては断固として非常に熱心でした
彼らが生きている限り、長かろうが短かろうが
自らの体を責め苛めました
- 405 三人のうちの1人、痩せて、非常に傷ついているほうが
書かれているようにアニフリディ⁷³⁾にやって来て
その町に泊めてもらいました
聖なる女性の宿で、歓待されました
- 406 彼は泊まり客たちに冒険のすべてを話しました
いかに自分たちが教会で不謹慎なことをしたか
いかに聖マリアの怒りを買ったか
そしていかに熱せられる苦しみを味わったか
- 407 自分の言ったことが信じてもらえないだろうと思って
多くの人が見ている前で服を脱ぎ
隠して持っていた剣を見せました
それはざらざらしたベルトで肌に巻き付けてあったものです
- 408 その剣は幅が半パルマーダ程⁷⁴⁾ あったでしょうか
その周りの肉はとても腫れていました
その下の肉はすっかり焼けていました
彼は次の朝非常に早くいなくなりました

- 409 皆は驚きました
 というのはすごいことを聞き、傷ついた手足を見たからです
 若者や所帯持ちが集まるとどこでも
 みんなその話しでもちきりでした、若者も老人も
- 410 この奇跡はただちに書き留められました
 忘れられないように
 人々はそのような罪を犯すことに非常な恐れを抱きました
 教会や神聖な場所を破壊したりするような
- 411 あなた方も解るように、聖マリアはこのような方です
 悪い行いをする者には悪い網をかけますが
 改心した者には大きな恵みを与えます
 この事が分る例が多数あります
- 412 非常に例が多ので数えることが出来ません
 それらは毎日起こっているからです、そう書かれています
 これらは百幾つの他のものを含めて十分の一くらいでしょう
 聖母が誤れる人々のためにキリストにお願いしてくれますように

18 トレドのユダヤ人

- 413 大司教区である気高い町トレドに
 八月半ばの大祭の日に
 それは良き召使いの母である聖母のお祭り⁷⁵⁾ですが

大きな素晴らしい奇跡が起きました

- 414 誠実な司祭である大司教は
聖なる祭壇でミサの最中でした
すっかり準備ができた大会衆がそれにあずかっていました
教会は一杯で、聖歌隊席はあふれていました
- 415 非常に敬虔な会衆が祈りを捧げていました
神から許しを得ようとする人のように
その時非常な苦しみ声を聞いたのです
それでミサはすっかり混乱しました
- 416 天からの声は苦しげに責めるように彼らに言いました
《聞きなさい—と声は言いました—キリスト教徒たちよ、
不思議なことを
ユダヤ教徒たちは聞く耳を持たず、盲目で
キリスト様にかつてない程頑なでした
- 417 聖書が私たちに伝えるところによると
彼らはキリスト様にとっても大きな悪さをしました
その悲しみが私の内臓を切り裂きました
しかしそのすべての狂気は彼らに降りかかりました
- 418 彼らは故ない扱いを受ける御子に心を痛めませんでした
そのような悲しみを見た御母にもそうでした
そのような悪事をしでかしたひどい人々です

そのようなことをした者は決して不正を働いたことにはならない
のです

- 419 不幸にも生を受け、うそつきで、裏切り者の彼らは
いま私に過去の苦しみを新たにさせ
非常な窮地に私を追い込み苦しみの汗をかかせている
つみびと
罪人の光である我が息子は十字架に架けられている
- 420 再び彼らは親愛なる我が息子を十字架に架けている
私の苦しみがどれほどのものか誰も分からないだろう
このトレドには苦いぶどうの畑ができている
今までこの地にはそのような悪いものはできなかった》
- 421 司祭たち全員がこの声を聞きました
そして多くのモサラベ⁷⁶⁾の信徒たちも聞きました
彼らはそれが聖マリアの声だと思いました
彼女に対してユダヤ人たちは愚行を働いていたのです
- 422 ミサを挙げていた大司教が言いました
近くにいた人々がそれを聞きました
《信じなさい、皆さん—と彼は言いました—話している声は
とても傷ついて、それで嘆いているのです》
- 423 ユダヤ人たちは何かするものと知りなさい
聖母の御子イエス・キリストに対してです
その心配で聖母は嘆いているのです

この嘆きは無駄でも嘘偽りでもありません

424 ここにいる司祭や信徒の皆さん

この事に心を留めて軽視しないでください

捜せば兆候が見つかるでしょう

このような悪事は糾弾してください

425 家々を訪ねましょう、一ぐずぐずしてはいられません—

大司祭たちに関しては何か見つかるでしょうから

昼食は抜きましょう、ちゃんと後で食べられますから

そうしないと私たちは聖母に叱責されるでしょう

426 会衆も全司祭も行動を起こし

非常に急いでユダヤ人街に行きました

彼らを導いたのはイエス・キリストと乙女マリアでした

たくらみは直ちに露見しました

427 彼らは最も高潔な司祭の家で見つけたのです

人間の形をした大きな蠟の物体を

キリスト様のように十字架に架けられていました

大きな釘を打たれ、わき腹に大きな傷がありました

428 私たちの主^{しゅ}に何という侮辱を与えたのでしょうか

そこで彼らはそれをすべてを私たちを辱めるためにしたのです

直ちに彼らを捕えましたが、あまり嬉しくはありませんでした

しでかしたことの報いを受けたのです、創造主に感謝！

- 429 捕まえることのできた者たちはちゃんと処刑されました
彼らには相応しいまずい食事が与えられました
彼らは“しかして汝”⁷⁷⁾を唱え、哀れな死を迎えました
後になって自分たちがバカな事をしたと分かったのです
- 430 聖マリアを辱めようとした者は
この者たちのように然るべき報いを受けたのです
しかし私たちは彼女に仕え、崇めることを考えましょう
なぜなら彼女の祈りは最後に私たちを助けてくれるでしょうから

19 賞賛すべき出産

- 431 もう一つの奇跡についてあなた達にお話ししようと思います
それは昔ある港で起こったことです
それを聞けばあなた達は理解し、断言するでしょう
遍在するマリアの力を
- 432 そのことであなた達は分かるでしょういかに聖母が
海においても陸地においてもすべてに力があるかを
またいかにすばやく、彼女は怠惰ではないので、助けになるのか
そしてどんな人もこんなに慈悲深い母を見たことがないのです
- 433 ラ・トゥンバ（墓）⁷⁸⁾と呼ばれる海辺の湿地の近くに
一つの島が岸辺にありました
その上に潮が寄せたり引いたり

日に二度、時には三度していました

434 島の奥まった、波間に近い所に

聖ミカエルの聖堂がありました

大きな奇跡はいつもそこで起こっていました

しかしそこにはちょっと入れませんでした

435 海が引き潮の時は

ものすごい早さで引いて行くので、抗することはできませんでした

身軽な人でも逃げるできませんでした

その前に退散しなければ、そこで死ぬことになったでしょう

436 至高の天使の祭日⁷⁹⁾は

海はいつもより静かで穏やかでした

人々は落ち着かない様子でミサにあずかっていました

それから急いで無事に退散しました

437 ある日偶然に他の人々と共に

痩せた身重の女が入って来ました

彼女は帰りにしっかり身を守る事ができませんでした

来たのを後悔していました

438 波が近くまで来て、人々は遠くにいて

悪い事に足が言うことを聞きませんでした

仲間たちは彼女を助けるほど勇敢ではありませんでした

わずかの間にずっと離れてしまいました

- 439 どうすることもできず人々は苦し紛れに
《聖マリア、お助け下さい》と切羽詰まって言いました
その不幸な妊婦は苦しうに
波間でもがいていました
- 440 逃れ出た人達は何も見えないので
彼女がてっきり溺れたものと思っていました
彼らは言いました、《この女は不幸だったんだ、
彼女の罪が彼女に手ひどい罫を仕掛けたんだ》
- 441 こう話していると海が引いて行き
すぐにもとの所に位置に戻りました
キリスト様が彼らに偉大な奇跡を起こそうとしたのです
このことから母君について人々が何か語るように
- 442 彼らは皆自分の道を行こうとしていたのですが
目を遠くにやって浜辺を見ると
女が1人でやって来るのが見えました
息子を腕に抱いて岸の方へ
- 443 人々は皆驚いて
幻が彼らを欺いているのだと思いました
しかし少しすると納得して
諸手を挙げてキリストに感謝しました

- 444 彼らは言いました、《御婦人、お願いですから
私たちは神かけてあなたにお願いします、本当の事を私たちに
言ってください
事の次第について確かな事を言ってください
あなたはどのようにして身重の状態から解放されたのですか
- 445 神によってこの事が起こったのです、その事を私たちは疑いませ
ん
そして私たちがお願いする聖マリアによって
そしてまたその祝日に私たちが来ている聖ミカエルによって起
こったのです
このような奇跡を私たちが書くことは良い事です》
- 446 《聞いてください—と婦人は言いました—私の良き仲間の皆さん
あなた方はこれより大きな奇跡を聞いた事がないと思います
これは外国によく伝わるでしょう
ギリシャやアフリカや全スペインに
- 447 死から逃れられないと私が知った時
なにしろ恐ろしい波に囲まれていたわけですから
キリストと聖マリアに我が身を託しました
なぜなら私には他の手段が分からなかったからです
- 448 こうしていると聖マリアが現われて
マントの袖で私を覆いました

わたしは睡眠中よりも何の危険も感じませんでした
湯に入っていたとしても、これ以上の満足はないでしょう

- 449 心配も痛みも何の苦しみもなく
私はこの子を産みました、創造主に感謝
私は良い産婆を持ちました、これ以上の方は有り得ません
彼女は罪人^{つみびと}の私に憐れみをかけてくださったのです
- 450 彼女は私に大きな恩恵を授けてくれました、一つではなく二重に
もし彼女がいなかったら私は溺れているでしょう
出産でも助けてくれました、そうでなければ私は傷を負っている
でしょう
女がこんなに名誉ある産婆をもったことはありません
- 451 これがあなたたちにお話しする通りに私に起こった事です
聖マリアが私に大きな憐れみをかけてくれたのです
それ故私たちはそこから学ばねばなりません
そして彼女に私たちを死の敵から解き放ってくれることを祈らね
ばなりません》
- 452 皆その奇跡を非常に喜びました
そして神と聖マリアに感謝を捧げ
全会衆が素晴らしい賛歌を作りました
司祭が教会で歌えるような
- 453 《主^{しゅ}であり父であり世の贖い主であるキリスト

世を救うために死と苦しみに耐えたお方
 あなたが賛美されますように、良き主^{しゅ}なのですから
 決してあなたは罪人^{つみびと}を忌み嫌ったことがない

454 あなたはヨナを魚の腹から救い出しました⁸⁰⁾
 魚は三日間彼を腹に閉じ込めていたのです
 けがはありませんでした、あなたに守られていたのですから
 古い奇跡が今日繰り返されたのです

455 イスラエルの子らは海を渡る時に⁸¹⁾
 あなたの命によってモーゼの後に続きました
 波の下にあって何の被害もありませんでした
 しかし追っ手たちは皆溺れました

456 昔の貴重な栄えある奇跡が
 繰り返されるのを今私たちは目で見ているのです
 主よあなたの友たちは海に浅瀬を見つけ
 他の者たちが乾いた所で溺れているのを見ます

457 主よ、あなたの偉大で素晴らしい力が
 危険な海でペイドロを救ったのです⁸²⁾
 主よ、あなたは乙女マリアの内で肉体を得た方
 私たちは他ではなくあなただけを信頼します

458 主よ、あなたの聖なる徳が賛美されますように
 王冠を頂いた女王であるあなたの母君が賛美されますように

あなたが賛美されますように、彼女が褒め讃えられますように
主よ、あなたは彼女の内に祝福された住家をもったのです

- 459 主よ、あなたには終わりも始めもありません
海も風もその手の中にあります
どうかこの会衆を祝福をしてください
私たち皆が一つになってあなたを褒め讃えることができるように
- 460 男も女も、ここにいる私たちすべてが
あなたを信じ、あなたを崇拜いたします
あなたと母君を私たち皆が賛美いたします
あなたの名においてテ・デウム・ラウダームス⁸³⁾を歌いませう》

注

- 57) バビーア（北伊の町）のこと
58) カトリック教会の聖職者のヒエラルキーで、与えられる権能によって7段階ある
59) Reyes Magos（キリストが生まれたのを聞いて東方から来た三人の博士）のこと
60) 「蚊とり」の意
61) Palencia の司教 Tello Téllez de Meneses のことで、作者ベルセオは Palencia で学んだことがあるようである
62) ラテン語 *continens et contentum*（含むものと含まれるもの）
63) 聖マルチンは4世紀のトゥールの司教で居酒屋店主の守護の聖人と考えられた、つまりここでは「酔っている」の意
64) つまり無いもの
65) 以前の聖職者としての生活
66) フランス中部の Bourges（ブルジュ）
67) フランス、ドルドニユの Saint-Michel-de-l'Écluse あるいはイタリア、ピエモンテの San Michele

della Clusa

- 68) 修道会などが経営する安価な宿泊施設
- 69) ラテン語 *Corpus Domini* (主の体)
- 70) 「純粹無垢な少年」の意
- 71) ラテン語 *comunicanda* は聖体拝領中に歌われる公唱で、ここでは聖体拝領そのもの、あるいは死者のミサを指していると思われる
- 72) 貧者のパンを作るライ麦から発生する病気で四肢の壊死を招く
- 73) Anifridi, フランスの Amfreiville-sur-Iton のこと
- 74) *palmada*, ここでは *palmo* のことで約 21 センチ
- 75) 8 月 15 日の聖母被聖天の祭日
- 76) アラブ支配下のキリスト教徒
- 77) *Tu autem, domine, miserere nobis.* 「しかして、汝主よ、我らを哀れみたまえ」(筆者訳)
- 78) *San Miguel de la Tumba*, フランスの *Mon-Saint-Michel* (モン・サン・ミシェル) のこと
- 79) 大天使聖ミカエルの祭日で 9 月 29 日
- 80) 旧約聖書ヨナ書
- 81) 旧約聖書出エジプト記 14. 21-30
- 82) 新約聖書マタイ伝 8. 24-32
- 83) ラテン語の聖歌 *Te Deum laudamus* (汝神を我ら褒め讃えまつる—筆者訳)